

国家の独立性の要求

Kuroda International Foundation

Takeshi Kuroda

国家が独立を有することは、自己の施策と理念を行いうることなのである。他国に隷属することは、他国の要求を行うことなのである。

そのため自立と独立は、必ず国家の生命線である。それらは自己の努力において国家を行わなくはいけない。

他国が供与することは、他国がそれを有することなのである。そのため近代と現実における自己の参加は、自国がその先端性と内容において対等な国家構築を行い、世界に対して対等な参加を行うことなのである。

それらは学術的な、自己の対等性や、技術、軍、産業、資本、政治において、その全てにおける対等性を自国において構築することなのである。

これらは現実における唯一の選択である。メディアと正義に追随することは、決して現実における対等性を与えないのである。